



CLUB OFFICE
 京都 YMCA 国際専門学校
 〒602-0033
 上京区烏丸今出川下ル
 TEL (075) 432-3191
 FAX (075) 432-9440



10
 No.332
 2007年10月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

国際会長 "Let's Show-Let's Grow"
 「示そうワイズ！伸ばそうワイズ！」
 アジア会長 "Let's Join under the Y's Men's Flag"
 「ワイズメンの旗のもとに」
 西日本区理事 "Let's move forward with conviction!"
 「確信を持って前進しよう！」
 京都部部長 「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

西日本区強化月間

BF

会長 岩本敬子
 副会長 山下太郎
 書記 島田博司 牧野万里子
 会計 中原一晃

クラブ会長標語 「笑 顔」 喜んで、楽しんで、感謝して。

『 切手蒐集は古い？ 』

ファンド主査 中村 豊



小生 今期は主査として京都部へ出向している立場上、いやでも応でもファンドについて学び、その所をアピールする事とされていて、何かとハテナ、トホホの状況のなか、案の定10月はBFファンドの強調月間という事で、ブリンの原稿依頼が入りました。

そういうことで、少しお付き合いください。

ワイズではファンドとBFファンドの両方の言葉を使っていますが、私の立場上この違いを皆さんに、まず解ってもらいたいのです。広義のファンドは、今月のポテトに見られるような、物品販売によるクラブ独自の収益を目的とした事業です。対してBFファンドの分野は、販売事業とは係わりのないもので、もっぱら西日本区や国際への純然たる献金を意味します。まず両者の違いを理解いただきたいのです。後者のファンドは、BF・EF・JWFの献金があり、各々趣旨と目的が違ってきます。詳しくは関連資料をご覧ください。

では献金する原資をどうして調達するかという事ですが、地域奉仕事業では年賀切手を換金してCS献金に当てています。同様にBFファンドでも、使い古しの切手を集めて、

これをワイズ界の切手商氏に買い上げてもらうシステムが今でも続いています。

ちなみに両者とも、仕入れコストが名目上0円あるのが特徴で、これはワイズの先輩の知恵の一つなのでしょう。使い古しの切手をきれいに整備するのは、労力の割りに効率が低いとの意見もあり、また易きに流れていくのでしょうか、締め切り間際に現金で済ませているのが現状です。ずっと以前は切手と台紙を剥がすのに、風呂にどっさり切手を漬けておく光景が見られたと聞いてのことでしょう。ここは一つ、気長に年間を通じて切手を蒐集しておき、年に一度でもよいからメンバーが一斉に持ち寄る動きがあってもよい様に思うのです。部長公式訪問の随行で7月にキャピタルCへ行ったとき、受付に切手の入った長さ60cm径20cmほどのポリ袋が置いてあり、立場上感銘を受けたものでした。相当な量ですね。

日常生活や仕事のうえでは効率を追求しつつも、ワイズの世界にあっては非効率であっても、コツコツと蒐集を続けるところに、それぞれワイズの面白さがある様に思うのです。また物品販売の収益を献金の一部に廻すのも正当なあり方と考えます。

会長さん、三役さん、よければ是非今期中にこちらを協議されて、実行に移されてどうでしょうか？

9月在籍者	例会出席率				BFポイント		ニコニコ		ファンド	
	第一例会	第二例会		切手	0pt	第一例会	ネットファンド			
会員	メン	19名	19名	現金	0pt	0円	0円			
23名	メネット	2名	4名	(メイキャップ含む)						
広義・功労会員	コメット	0名	0名			第二例会				
0名	ビジター	0名	8名	累計		14970円				
	ゲスト	0名	3名	切手	0pt	全額メネット会へ	ファンド			
			修正	現金	0pt	累計14970円	年間合計			
合計	23名	計	21名	34名	なし		31,057円			

今月の聖句

自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。
(マタイによる福音書第6章25節)